

## 冬-3 年末パーティー

### 1. 活動の目的

- ①日本と海外の忘年会について話し合う。
- ②日本語教室の年末パーティーを想定して楽しむ。
- ③ゲームを通して日本語を練習する。

### 2. 準備するもの (☆は教材ファイルにあるもの)

☆カード① (私はだれ)、② (ここはどこ)

### 3. 活動の手順

**発**: 発展的活動    **留**: 留意点    **参**: 参考

#### 活動1

- ・「いつ」「だれと」などの他に、どんな場所ですか、会社の忘年会はだれがお金を出すかなど、質問を広げる。
- ・みんなの前で披露できる特技について聞く。もし、その場で披露してもいいなら披露してもらおう。

**参** 年末パーティーについて、国によって名前と習慣が異なる。日本で言えば「忘年会」、台湾で言えば「尾牙 (ウェイヤー)」、中国で言えば「新年会」など、それぞれお決まりの行事がある。「嫌なことを忘れる」という意味合いは他の国ではないようである。

#### 活動2

カード①

- ・日本語教室の年末パーティーで行うゲームとして進行する。

☆「私はだれ？」ゲーム☆

カード① 

スーパーマン	ベートーベン	アインシュタイン	ドラえもん
ハローキティ	オードリー・ヘップバーン	マザー・テレサ	
ガンディー			

1. ボランティアが司会をする。司会者がルールを説明してから活動を始める。
2. 遊び方を示すために、一回目はボランティアが行う。二回目からはみんなで遊ぶ。
3. まず、一人目の挑戦者がカードを一枚選ぶ。挑戦者はカードを見てはいけない。司会者は、カードの人物を知っているかどうか挑戦者以外の人に確認する (もしみんなが知らなかったら、パスして他のカードを選ぶ)。
4. カードを決めてから、ヒントを考える時間 (1~2分) をとる。
5. みんなが挑戦者に一人一つずつカードの人物のヒントを言う。思いつかないときパスしてもいい。
6. すべての人がヒントを出してから、挑戦者がみんなの答えを基に人物の名前を答える。間違ったら、今度は挑戦者からみんなに質問をする (私は賢い人ですか、メガネをかけていますか、など、「はい」か「いいえ」で答えられる質問)。挑戦者は二回目から答えを思いついたらいつでも答えることができるようにする。それでも正解が出てこなかったら挑戦失敗で、ほかの人に代わる。

**参** 学習者と一緒にカードのお題を考えてもよい。

## カード②

☆ここはどこですか？ゲーム☆

カード② 図書館 デパート 国際交流協会 海 郵便局

- ・ ☆私はだれ？ ☆のルールと同じように、「人物」を「場所」に入れ替えて進行すればいい。

**参** 挑戦者が初級レベルの場合、答えやすいカードをボランティアが選んであげるとよい。

## 活動3

- ・ 学習者が紹介できそうなゲームを思いつかないようなら、じゃんけんを使った簡単なゲームなどを紹介してもらおうとよい。
- ・ 時間があればみんなの国のじゃんけんの言い方とジェスチャーを聞く。

## 活動4

- ・ 思い出の一枚を撮る練習をする。
- ・ いつも通りの記念写真ではなく、特別な一枚を撮るためにどんなポーズが面白い  
か、みんなで話し合う。

**留** 実際に写真を撮るときには、できればみんな違うポーズをすると面白い。写真を撮る人がポーズを指示してもいい。

- ・ 【参考：ポーズのことば】 以外の動詞や形容詞でポーズを説明してもいい。
- ・ みんな自分のポーズを決めたら、一回みんなでポーズを試してみる。
- ・ もし実際に写真を撮るなら、撮られた全員の承諾なしに写真を利用してはいけないとみんなに注意する。